

香里

第二章
肉欲の芽生え



For Adult Only

香里

第二章
肉欲の芽生え





前回のあらすじ

名雪達と勉強会という事で水瀬家に泊りにきた香里。深夜、トイレに行こうと目を覚ました香里は秋子の寝室から喘ぎ声がするのを聞き好奇心を抑える事ができず覗いてしまう。そこにはベッドの上で激しく自慰に耽る秋子の姿があった…

秋子の激しい自慰に目が釘付けになってしまった香里。我慢する事ができずそのまま廊下で自慰を始めてしまう。だがしかし…秋子の股間にはえていたモノが目に入ったとたん驚いてドアを閉じてしまい秋子に気付かれ、慌てて逃げようとするが乱れた衣服が邪魔になり見つかってしまう。そして、そのまま部屋に連れ込まれてしまうのだった。

秋子にお仕置きとばかりにフェラチオを強制されほとぼしる精液を飲まされる香里。秋子は更にその貞操まで奪おうとするが香里の必死の懇願に前と後の処女のどちらかを香里に選ばせる事にする…香里はお尻を選択し秋子にアナルを齧られる事になるのだった。

それから数日後、朝の学校の靴箱の前で香里は祐一から秋子の手紙を受け取る。恐る恐る封筒を開いてみると中には香里の陵辱写真と一通の手紙が入っていた…そしてそれは香里にとってあの時の悪夢のような夜がまだまだ続く事を意味するのだった…

あの悪夢のような
夜から翌日後……

秋子さんから
渡された手紙と
数枚の写真は……

秋子さんから
渡された手紙と
数枚の写真は……

私にまだあの悪夢の
日々が続く事を
意味しました……



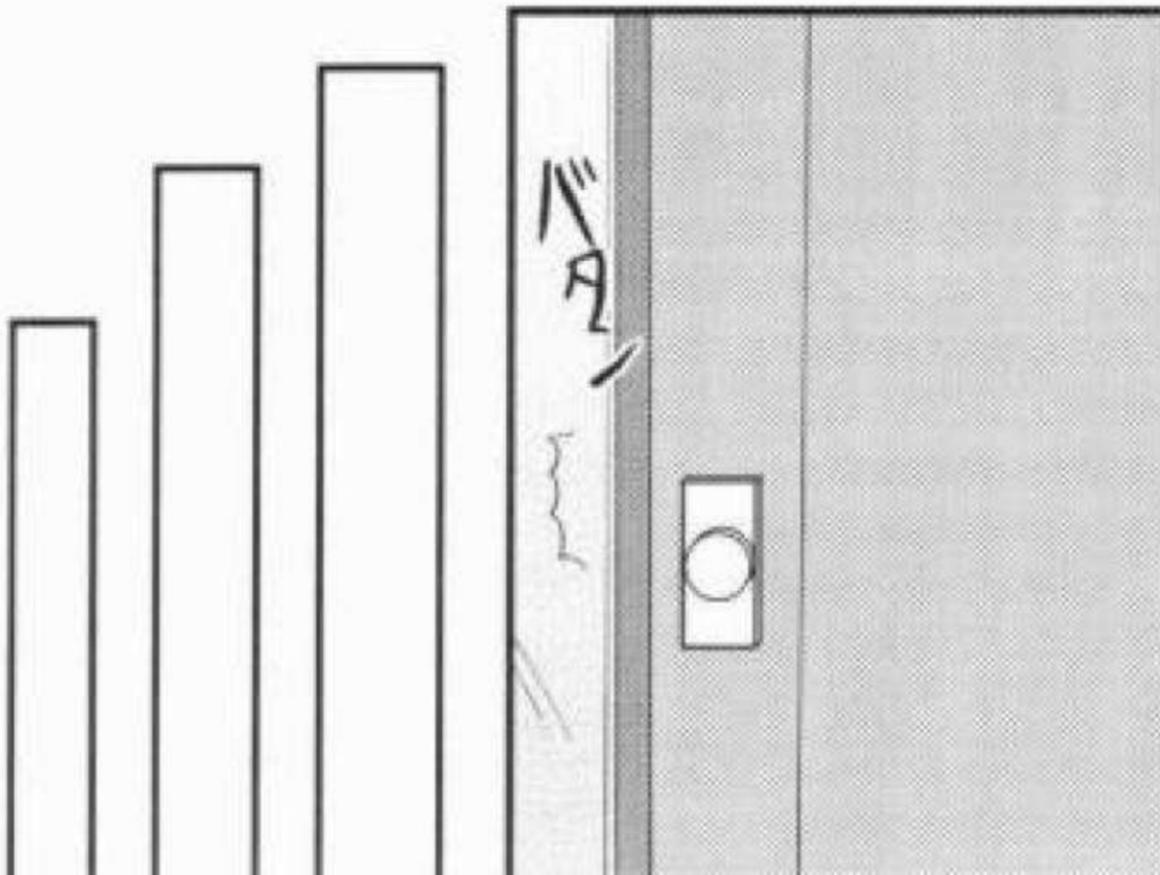
ああ……私……今日も
いやらしい事を
されるんだわ……



いらいやらしい
事……



あつた





おはよう... 朝の挨拶は
おはよう... 朝の挨拶は
おはよう... 朝の挨拶は



おはよう... 朝の挨拶は
おはよう... 朝の挨拶は
おはよう... 朝の挨拶は



あ... なんだか
あ... なんだか
あ... なんだか



おはよう... 朝の挨拶は
おはよう... 朝の挨拶は
おはよう... 朝の挨拶は

いやあ... そんなもの
グリグリ振り付けない
でえ...

あはあ...
秋子さんのオチンチンが
お尻に当たってる...



それじゃあこんな
なつた責任をどう
もらおうかしら

ああ...
ああ...
ああ...



おはよう... 朝の挨拶は
おはよう... 朝の挨拶は
おはよう... 朝の挨拶は



あ... 秋子さんの
こんなに大きくなっ
てる...



また... こんな
大きなものを詰め
させられるの...

ああーこんな大き
なものお尻に入れたら
私ー壊れちゃうわー



えろ

何となく口内が
痒い感じがするー



へんげ

いびき

ひびく…股が
痒いしお尻が
んぐんぐん
♥はなはな



んぐん

んぐん

んぐん

んぐん

んぐん

お願い…は…
早く射精してえ…

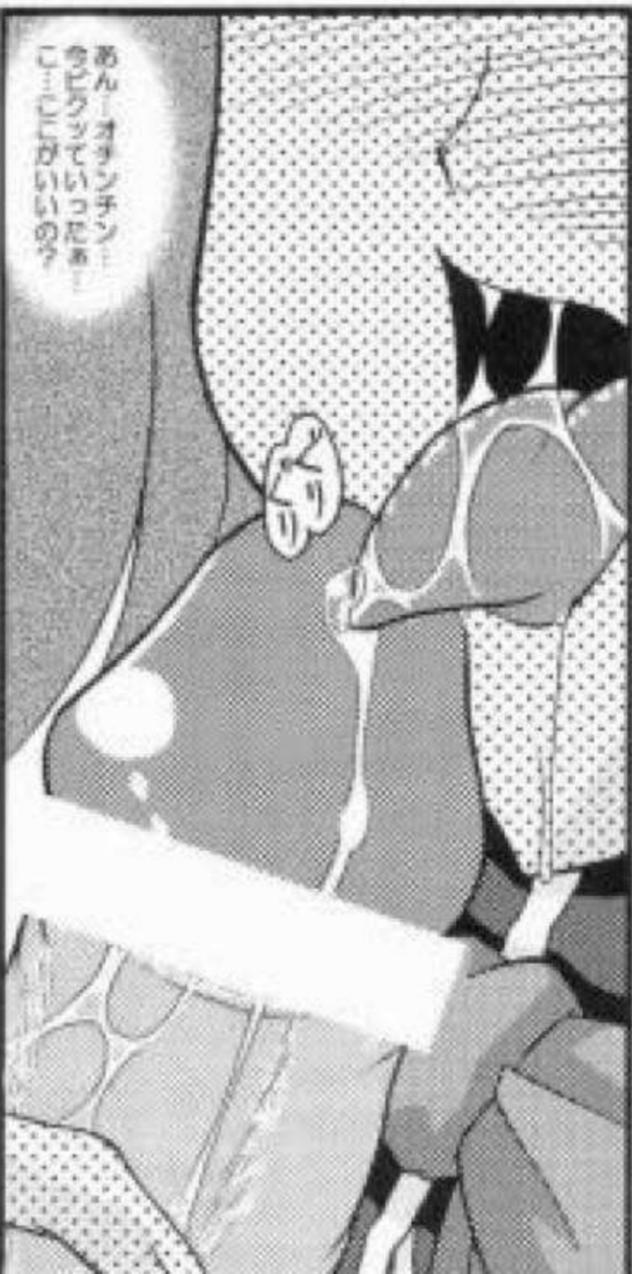
ああーでも…
すごい正解い
っぱい…
私さー

えろ



えろ

あんーお尻が
痒いしお尻が
んぐんぐん
♥はなはな



んぐん

ああーでも…
すごい正解い
っぱい…
私さー

へんげ

ぺちや

ああーこんな事
嫌なのにドキドキが
止まらないのさー





まだこのまま...
お口を閉じておいてください...
お口を閉じておいてください...

お口を閉じておいてください...



まだお口を閉じておいてください...



いや...
お口を閉じておいてください...

お口を閉じておいてください...



お口を閉じておいてください...

ああん！
だめえ！

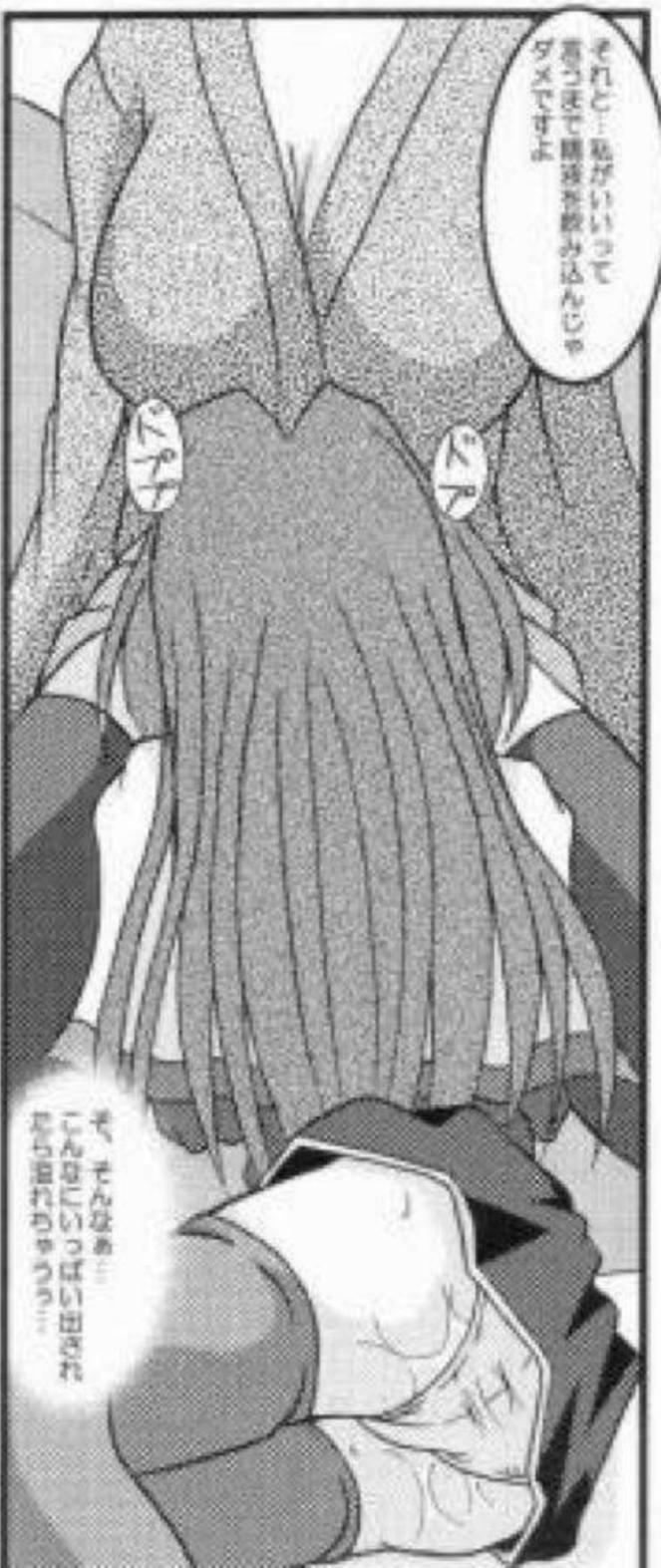


ちゃんとお口で
受け止めないと制服が
汚れちゃいますよ

んん！

ズンズンズン

ズンズンズン



お口を閉じておいてください...

ああん！
だめえ！

ちやうど…カワロ
ロ下で…あま
ごはゆるがゆが
あまごはゆるが
あまごはゆるが

あまごはゆるが
あまごはゆるが
あまごはゆるが



ちよつと顔を
開けてきますね

スクツ



ドーン

あら…
祐一さんが帰って
きたみたいですね

んん!

そ、そんなつー
だ、だめえ…

ムムム



まだ…糖液は
飲み込んで
ダメですわ

いふ…あま
ごはゆるが
あまごはゆるが

バタンッ



おはようございます

おはようございます



ええ、構いませんよ

はあー、おはよう



おはようございます、おはようございます

ハア

おはよう、おはよう、おはよう

ひびひびといます秋子さん！
相沢君ははれたらと思つと……
勝つかしくて死にじやい
そうでした



おはようございます



おはようございます

あー、おはよう



おはようございます





このまま...
たいは...
みだいでまわ...

あ...

あつ
いせあ!



1...
2...
3...

あ...
あはあ...



又リュッ

又チエウッ

1...
2...
3...



ひいつ!
だ、だめえ〜!

あ...

あ、お尻が
変になっちゃう〜!

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

ユ
ユ
ユ

ユ
ユ
ユ



ああん♡

あ...

あ...

はあ...オナニチンな...
突んた...
なっさ...
なっさ...



あ、お尻が...
お尻の...
なっさ...
なっさ...

ああん...
こんなのためえ...

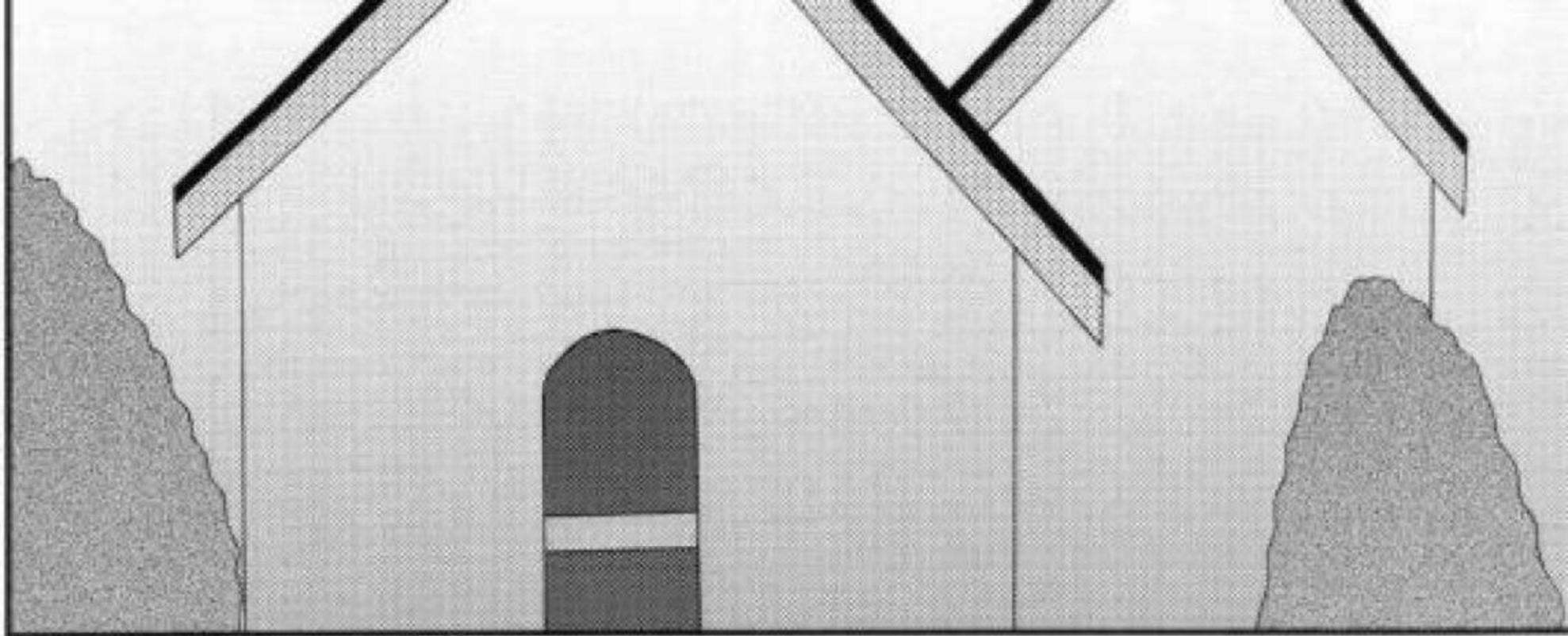
あ...

あ...

あ...

あ...





to be continued

あとがき&ご挨拶

皆さん、こんにちは、和泉弥生です。今回は前回に続いて「香里 第2章」をお送りいたします。もしこの本をはじめて手にとったと言う方がいたら「香里 プロローグ」の方もあわせて読んでもらえると嬉しいです。

前回、秋子さんの秘密を知ってしまい陵辱されてしまった香里ちゃん。今回でさらなる陵辱を受け…体の奥底に芽生えた肉欲に翻弄されてしまいました…物語は更に続く事になるのですが果たして香里はどうなってしまうのでしょうか…もちろんあんな事やこんな事もさせていきたい（核爆）と思っているのでよろしかったらしばらくお付き合いしていただくと嬉しいです。

ただ…最近は祐一が秋子さんに犯されたりとかふた〇りやらア〇ルとかアブノーマルな方向に行ってしまうので今回は普通にエッチな話を描きたいなあなどと思っています。

と言う事で、今回は少し短めなのですがこの辺で失礼したいと思います。



KANON FAN BOOK

VOL.17

KAGRI MISAKA

AKIKO MINASE

Presented by
紀靈なお姉さん